

館山海上技術学校マリンセミナー開催

8月1日 全海運と関東船対協協賛、総連合会協力

国立館山海上技術学校（千葉県館山市、澤田茂一校長）主催のマリンセミナーが8月1日同校で開催され、全国海運組合連合会と関東地区船員対策協議会が協賛、日本内航海運組合総連合会が協力した。

同校で毎年開催されているマリンセミナーは、夏休み期間中に生徒の保護者が泊まりがけで、同校の練習船による海上実習、カッター訓練を始め航海シミュレーター実習、パソコン授業、溶接実習、ロープワーク、座学などを体験する。今回の参加者は25名だった。

今回は全海運から中島繁専務理事、関東地区船員対策協議会から榎本成男会長（関東沿海海運組合理事長、榎本回漕店社長）、総連合会から畔柳健彦広報室副部長が出席。講演会では、渡辺慶太三洋汽船専務が内航海運の役割や内航船舶の紹介、内航船員の仕事・船内生活、などについてわかりやすく説明した。講演後は榎本、渡辺両氏と保護者達が卒業後に乗船する内航船について、熱心な質疑応答が交わし盛況だった。

その後に開かれたバーベキューパーティーの会場でも保護者たちは、両氏と生徒達の将来を託す内航海運について、語り合い有意義なときを過ごした。この席では同校カッター部の生徒代表から、7月28～30日に長崎市で開催された第17回全国水産・海洋高等学校カッターレース大会で5回目の優勝を果たしたことが報告された。



写真右上から澤田校長、榎本氏、渡辺氏。下は後援会会場と、質問する保護者達



マリンセミナー恒例のバーベキューパーティー。保護者と教職員が懇親を深める



カッター大会優勝旗とカップ